



【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり、創造力、すこやかな体をもち、
未来を担う 白根こまっ子 ～

令和7年6月6日 No5 文責 保坂 泉(校長)

“実り” 多き修学旅行になりました！

6年生がとても楽しみにしていた修学旅行が5月21日(水)～23日(金)に行われました。鎌倉散策や東京ディズニーランドでの活動を自分たちの手で計画を立て実行に移しました。机上で考えた計画と実際の場面では、様々な要因が加わり思うように進まないこともあったと思います。そのような想定外の困難を解決するには、仲間と協力して知恵を絞りだすことが求められます。最善の



結果を出すために、別の方法を出し合って予定を変更するなどして、成し遂げる難しさを知ることができたことと思います。そんな状況下でも、修学旅行のテーマ「協力し楽しく学び、笑顔あふれる思い出づくり」を達成させるためには、一人の考えだけで進めることもできません。また、それぞれが自分の考えを押し通していても身動きが取れません。他者の考えを尊重しながら自分の考えを大切に、多くの人が納得できるようなものにしていくことが大切です。大人の世界では当たり前のようにしていることですが、子供の

世界では自己の考えばかりを主張してしまって、まともになくなってしまいます。これは特別な時ばかりではなく日常生活の中でもよくあることだと思います。修学旅行の場では、これまでに身につけられた力が試される時でした。6年生の児童の皆さんは、楽しい思い出ばかりではなく苦しい思い出もしたという思い出もあることでしょう。それらも含めて、よい思い出の1ページとなっていると思っています。



《プール開設に向けて 準備OK！》



修学旅行の疲れもなんのその。5月26日(火)に5年生と6年生は、6月9日のプール開きを前にプール清掃に励んでくれました。当日は、雲が立ち込めていて、決してプール清掃日和ではありませんでした。しかし、5年生も6年生も自分たちや下級生が入るプールを一生懸命にきれいにしてくれました。高学年の自覚をもって勤労奉仕してくれている姿は、これまで以上に頼もしく感じられました。5、6年生の皆さん、本当にありがとう。その姿をこれからも見せ続けていってくれると期待しています。そして、6月9日のプール開きを楽しみにしています。

小中一貫教育って??



先日、数名の先生と白根巨摩中学校へ授業参観に行ってまいりました。飯野小を卒業した子供たちが、心身ともに一回りも二回りも成長し生き生きと授業に参加している姿を見て、これまでの小学校で学んだことが活かされていることが嬉しく感じられました。小学校の教員が中学校の授業を参観することも小中一貫教育の取組の一つです。9年間の学校生活を見据えて、中学校で必要とされる力は何であるかを知り、それを小学校のうちから育てていくことが、円滑な進

学につながっていきます。これは、教員側の取組の一例ですが、児童側にとっての取組はいろいろとあります。無言清掃や挨拶運動、靴・スリッパ揃えは、全校児童に関わるものです。円滑な中学校への接続のため、進学を目前に控えた6年生には、多くの交流活動がなされています。児童会と生徒会がタイアップした小中合同挨拶運動、中学生の指導による陸上練習会、中学校学園祭「桃響祭」演劇参観、小中合同合唱交流会等があります。中学校や中学生の様子を知ることにより、不安感を払拭して希望をもって進学できるようにすることをねらいとして取り組んでいます。また、教職員も3校合同の研究会を開催し、充実した交流活動について協議したり、求められる様々な力を身につけられるよう、授業や学習について研究を深めたりしています。



～ 正しい自転車の乗り方を学びました ～



5月26日(月)27日(火)の2日間にわたり、3年生が総合交通センターでクラスごとに正しい自転車の乗り方について学んできました。活動範囲が広がるにつれて自転車に乗る機会が増えてきます。起きてはならないのが交通事故です。自分の身は自分で守れるようにするために、自転車の点検から周囲の安全に気を配りながら乗ることについて実技練習を中心に行ってまいりました。初めは高をくくっていた3年生でしたが、実際に行ってみると、その難しさや自己流の運転の間違いに気づき、真剣な面持ちで取り組んでいました。近隣の学校からは、交通事故にあってしまったという情報も届いています。3年生だけに限らず、すべての児童が安全に過ごしてもらえることを願っています。

自転車教室実施に際して、お忙しいにもかかわらずご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。これからも、どうぞよろしくお願いします。



【校長の独り言…】

冒頭、修学旅行のお話をしましたが、私にとっても多くの学びがありました。中でも、バスガイドさん(自称「キャサリン」と言っていました。)のお話が心に残っています。「一番固いものはダイヤモンドと言われていますが、それを磨くには何が使われているのか知ってますか?」「そうですね。ダイヤモンドで磨かれます。それでは、人は何によって磨かれますか?」これを読んでいる方々は何だと思われますか? その答えで間違いないと思います。キャサリンは、「人は、人でしか磨くことはできないのですよ。だから…(以下省略)」とお話してくださいました。それを聴いて、私は目からうろこが落ちる思いでした。学校で集団生活をする意義を改めて考える機会を与えてくれたように感じています。自分に磨きををかけてくれていると思い、出会う人を大切にしたいですね。

(◆前号の答えです。「御御御付」は「おみおつけ」と読むそうです。)